

令和6年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号

50

学校名

恵那南高等学校

<p>学校教育目標 (教育方針)</p>	<p>社会的・職業的自立に向けた基礎となる資質や能力を培い、知・徳・体の調和のとれた心豊かな地域社会人を育成します。</p>	
<p>3つの方針 (スクールポリシー)</p>	<p>どんな生徒を育てたいか 【GP】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の適性を理解し、自らの将来をデザインし、自己実現に向けて自発的に行動できる生徒 ・ 多様な人々と協調性をもって豊かな人間関係を築き、他者と協力して課題解決に取り組める生徒 ・ 地域との関わりを大切にし、地域の課題を発見し、地域の持続的な発展に貢献できる生徒
	<p>生徒をどう育てるか 【CP】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒一人一人の個性や能力を開花させ、将来の進路目標を実現するためのカリキュラムの編成とICT活用などによる分かりやすく個に応じた指導の実施 ・ 「探究的な学び」や教科学習、対話的な学びによる、コミュニケーション能力と自己表現力の育成 ・ 長く広い視野で自分の住む地域のことを考える心を育む教育活動の推進
	<p>どんな生徒を待っているか 【AP】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動、部活動、生徒会活動などを通じて、自らの可能性に挑戦したい生徒 ・ 人との関わりやつながりを大切にし、仲間と協力しながら主体的に学びたい生徒 ・ 地域活動やボランティア活動などに主体的に参加し、地域社会で活躍したいという意欲のある生徒
<p>学校の抱える課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少人数であるが多様な生徒に対応するために、地域との連携、協同により、自己の存在意識を高め、地域社会における自分の責任を果たすことができる社会人を育成する場として存続し続けること。 ・ 地域の少子化が進み、中学校の統合が進められている現状において、近隣中学校からの入学生の確保と他地域からの志願者を増やすこと。 ・ 教員数の減少に伴い、これまで地域に根ざした学校として築いてきた様々な取組を受け継ぐ人材の確保と育成。 	
<p>教育指導の重点</p>	<p>領域・分野</p>	<p>今年度の具体的な重点目標</p>
	<p>学習指導</p>	<p>生徒の特性や興味関心と進路目標に応じた学力の伸長を目指すとともに、主体的に学ぶ姿勢や進んで課題解決に取り組む姿勢を高め、地域社会に貢献できる能力を育てます。</p>
	<p>生徒指導</p>	<p>地域や家庭及び小中学校、特別支援学校や地域との連携を密にすることにより、生徒一人一人の視野を広げ、ものの見方、考え方を深めることでより一層の生徒理解・生徒支援を目指します。</p>
	<p>進路指導</p>	<p>基本的な生活習慣・生活態度の定着を学校生活全般において徹底させ、地域に貢献できる人材の育成を目指します。</p>
	<p>学校経営</p>	<p>教職員の働き方改革を推進し、教職員・生徒ともに生き生きと活動できる学校を目指します。</p>

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な具体的な取組・方策	県教育振興基本計画での位置付け	達成度の判断・判断基準あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合評価 A. B. C. D
学習指導	①多様な生徒に対して、少人数分割授業や習熟度別授業を展開し、ICT機器を効果的に活用するなど、学習方法を工夫し、学力の定着を図ります。	9	施策Ⅱ-9	授業アンケートによる授業評価 外部テストの学力状況			
	②教育研究実践機関「浪漫学園」での協働的な学びや地域連携事業等の体験的な学びを活用し、主体的な学習姿勢や課題解決能力を高めます。	1 4 7	施策Ⅰ-1 施策Ⅰ-4 施策Ⅰ-7	地域活性化への貢献度 生徒の自己評価			
	③演劇等ワークショップや種々の地域連携事業を通し、生徒の主体性、コミュニケーション能力や自己表現力の向上を図る魅力ある教育を推進します。	1 7	施策Ⅰ-1 施策Ⅰ-7	アンケートによる生徒の評価			
生徒指導	①挨拶、言葉遣い、基本的なマナー、規範意識の向上について、学校生活の全ての場面で全職員が指導に当たり、生徒理解に基づく支援を行います。	1 2	施策Ⅰ-1 施策Ⅰ-2	生徒、保護者、地域の評価。また、取組の結果等を検証する。			
	②地域行事や地域施設を利用した学習に積極的に参加し、地域との交流を深めて自己肯定感の高揚に努めます。	4 7	施策Ⅰ-4 施策Ⅰ-7	生徒・職員がどの程度地域と関わり、新たな発見をすることができたか。			
	③ふるさと魅力体験事業を活用するとともに、外部の人材による各種講座等を増やすことにより、地域に根差した道徳心を育てます。	1 2 7	施策Ⅰ-1 施策Ⅰ-2 施策Ⅰ-7	生徒が何を達成することができたか、意識の変化はあったか。			
	④出身中学校や特別支援学校と高校間、医療機関等との連携を密にし、情報交流を深めることで、適切な生徒理解と支援をします。	7	施策Ⅰ-7	どのような方法で生徒の成長及び進路意識の向上に結びつけたか。			
進路指導	①高校3年間を見通した指導計画を作成し、生徒一人一人が各自の進路目標を達成できるように、全職員で指導と支援の充実を図ります。	23	施策Ⅳ-23	生徒が決めた目標を達成できたか。また、保護者や外部の視点からも妥当であったか。			
	②「COREハイスクール事業」を活用し各種教育活動を通じて地域に貢献できる人材を育てます。	7	施策Ⅰ-7	地域とのふれあいの中で、何を学び、地域の声をどう反映することができたか。			
	③地域の企業等と連携した企業実習の充実を努め、望ましい職業観、勤労観を育てます。	7 13	施策Ⅰ-7 施策Ⅱ-13	企業実習を通して職業観、勤労観が高められたか。			
学校経営	①広報活動を活発に行うことにより、学校の活動や魅力を家庭や地域に広く伝え、学校と家庭・地域社会との相互理解を図ります。	7 20	施策Ⅰ-7 施策Ⅳ-20	本校に対する理解はどの程度深まったか。			
	②常に教職員の業務の見直しを図り、適正化・効率化に努め、教職員が生き生きと働き、生徒ひとりひとりとしっかり向き合える時間の確保に努めます。	27	施策Ⅳ-27	時間外在校等時間の上限を超えない取組、工夫ができているか。			
	③教職員が信頼し合えるチームづくりを行い、「働きやすい環境づくり」を構築します。	28	施策Ⅳ-28	適切に年次休暇等を活用するなど、健康管理に配慮しているか。			

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和7年 月 日 学校関係者評価

実施日：令和7年 月 日